

昭和 羽

議会だより

第 61 号

61

平成23年10月15日 9月定例会

＜群馬県昭和村議会＞



2・3 平成22年度決算認定

4・5 9月定例会で決めたこと

8～13 村の姿勢を問う

16 追跡シリーズ17 あの問題は今

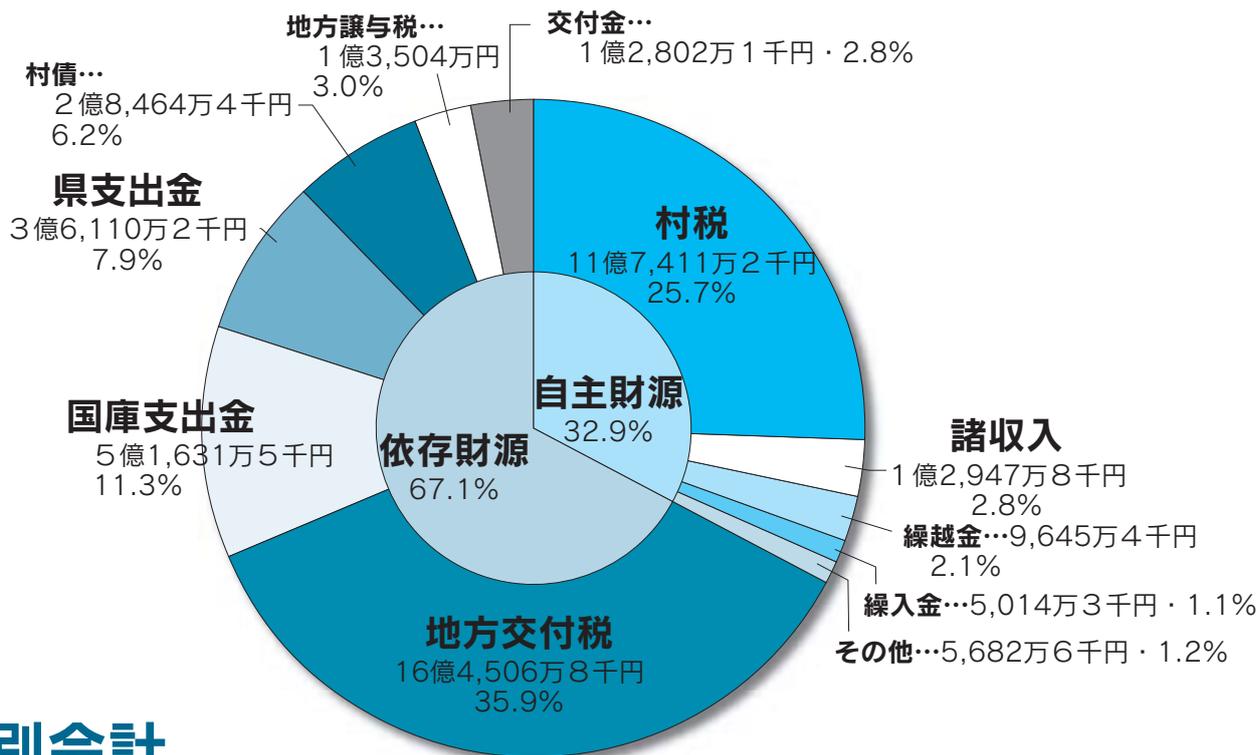
イーグルポイント市長一行が来村

昭和村の一般会計及び特別会計の決算は、単年度収支において黒字となり、適正な財政運営がなされている。公債費は、毎年減少しており堅実な財政運営が行われているが、厳しい状況に変わりなく、3・11東日本大震災、原発事故等で財政も安定しない状況にあり、効率のよい財政運営で健全化に努めなければならない。

一般会計

歳入総額 **45億7,720万3千円**
(前年度比7.5%増)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額 **11億1,774万3千円**
歳出総額 **10億2,380万3千円**

老人保健特別会計

歳入総額 **21万8千円**
歳出総額 **21万8千円**

簡易水道事業特別会計

歳入総額 **1億1,197万2千円**
歳出総額 **9,919万9千円**

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 **3億3,195万8千円**
歳出総額 **3億1,094万3千円**

介護保険特別会計

歳入総額 **5億7,643万4千円**
歳出総額 **5億5,795万1千円**

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 **6,731万2千円**
歳出総額 **6,672万1千円**

財政運営の状況

	20年度	21年度	22年度
財政力指数 地方公共団体の財政力を示す指数 1を超えると普通交付税が交付されない	0.396	0.412	0.430
経常収支比率 財政構造の弾力性を判断するための 指数 経常的支出に対し経常的収入財源が 充てられている割合を示したもの	86.8	84.6	77.2
公債費比率 公債費に充てられる一般財源の額の 標準財政規模に占める割合で10%を 超えないことが望ましいとされる	6.9	5.0	4.3
実質公債費比率 (債務負担行為含む) 標準的な収入(標準財政規模)に占め る実質的な公債費(借金返済額)の割 合で低いほどよい	15.7	13.9	12.4

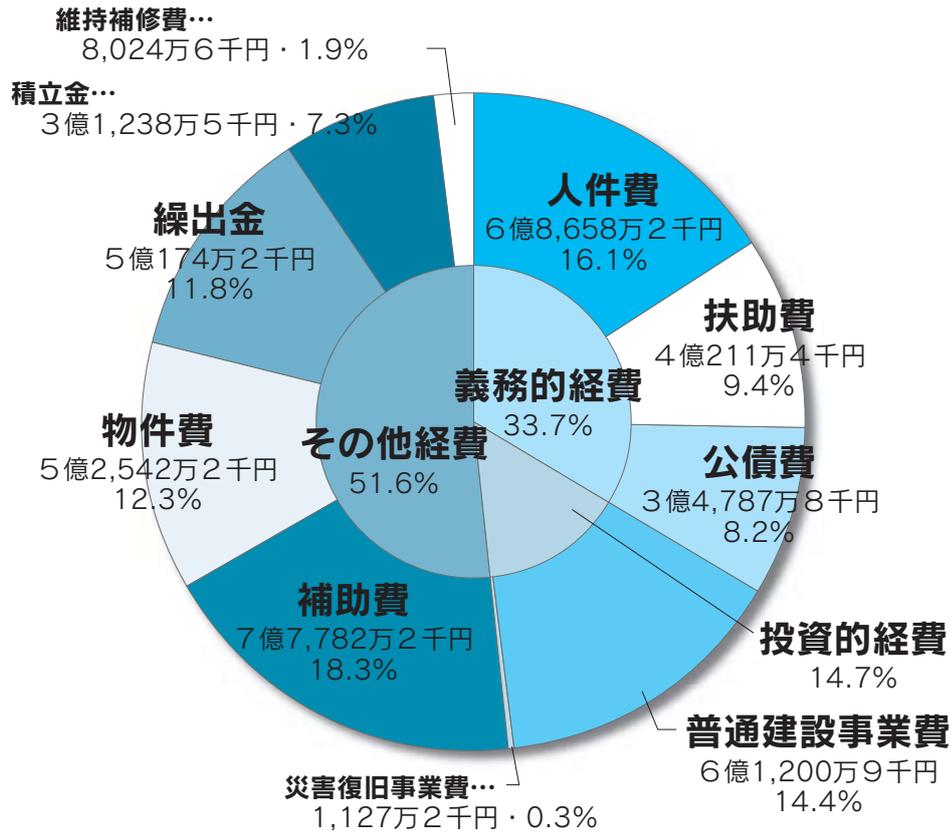
「決算」

平成22年度昭和村一般会計及び特別会計決算認定について審議を行い、歳入総額67億8,284万円、歳出総額63億1,630万7千円を認定した。

歳出

一般会計
歳出総額

42億5,747万2千円
(前年度比7.3%増)



8月22日から24日までの3日間、決算審査を行いました。

審査結果の総括的意見

代表監査委員 根岸 秀樹氏
監査委員 藤井 富夫氏

平成22年度昭和村一般会計歳入歳出決算書、主要施策の実績報告書、関係帳簿、証書類、各特別会計歳入歳出決算書、関係帳簿、証書類は法令に準じて作成されており、決算計数は関係帳簿及び証書類と照合した結果、適正と認められた。また、各基金の運用状況も書類の管理、計数とも関係帳簿及び証書類と照合し適正に管理されていた。

次に抽出検査が行われ、全ての工事・委託等は、設計・入札・契約等一連の手続きは規則通り適切に実施されており、適正であった。

よって一般会計・各特別会計の決算審査の結果は適正であると認められる。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会は9月7日から14日まで8日間の会期で開催された。

初日は村長から行政報告を受け承認2件について、即日採決し、報告1件を受ける。議案8件、認定7件については提案理由の説明のみとし、質疑、討論、採決については最終日に行う。この間各議員熟慮した結果、いずれも原案のとおり可決した。

南小学校の国有農地買収費を計上



南小学校校庭の南西部分2,869㎡が国有農地です

承認(専決処分)

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ782万6千円を追加し、総額は36億6861万3千円です。

歳入の主なものは財政調整基金からの繰入です。

歳出の主なものは、「道の駅めぐりーむ昭和」への雨水対策工事費620万円、福島第一原子力発電所の事故による放射能漏れに対し村内の放射線量を測定するための測定器購入費等の補正です。

昭和村税条例の一部改正

地方税法や高齢者の居住の安定確保に関する法律等の一部改正に伴うものです。

人事

昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任同意

条例の一部改正

昭和村税条例の一部改正

個人住民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、特別土地保有税、鉱産税の不申告や納税管理人の不申告に関する過料の見直しに伴い、過料を3万円から10万円に引き上げる改正と文言整理です。

昭和村学童クラブ設置及び運営に関する条例の一部改正

南小学校所在地が大字川額115番地から123番地に更正されたことに伴う更正です。

補正予算

一般会計補正予算(第4号)

林武夫氏(池原)が再任されました。



「定例会」

庁用バスの買い換えが決まる

歳入歳出それぞれ1億1556万1千円を追加し、総額は37億8417万4千円です。

歳入の主なものは、普通交付税の額が確定したことにより7098万1千円、財政調整基金からの繰入金で1256万5千円、臨時財政対策債の確定により2282万円等の増額です。

歳出の主なものは、南小
学校用地にある国有農地買収費885万円、庁用車(大型バス)購入費、道路維持費3954万5千円、橋梁維持費555万3千円、消防施設費では吹張地内の消火栓新設工事費等の補正です。

昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ112万7千円を追加し、総額は10億6270万9千円です。
歳入の主なものは、一般被保険者第三者納付金57万4千円と雑入55万3千円等の増額です。

歳出の主なものは、一般被保険者保険税還付金42万円と平成22年度補助金確定

による償還金61万4千円等です。

昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ240万円を追加し、総額は1億918万8千円です。
歳入の主なものは、基金繰入金240万円です。
歳出の主なものは、修繕料240万円です。

昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ400万円を追加し、総額は3億1500万円です。
歳入の主なものは、県補助金100万円、繰越金300万円です。

歳出の主なものは、修繕費緊急対応分として230万円、浄化槽エコ補助金100万円等です。

昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1075万6千円追加し、総額は6億1311万9千円です。
歳入の主なものは、支払

基金交付金248万8千円、繰越金で739万円3千円等です。

歳出の主なものは、平成22年度分の事業費の確定により国庫及び社会保険診療支払基金に100万5千円、繰出金として一般会計に975万1千円等です。

決議

昭和村議会基本条例策定特別委員会を設置

議会基本条例策定のための調査を行うため、特別委員会を設置しました。委員は5名で、委員長に加藤生議員、副委員長に横坂先夫議員を選出しました。



8月8日、左記の議題を協議する。

①農産物残渣の焼却について

農業振興のためには農産物残渣の焼却は必要であり、県に対し、今年6月に

「群馬県の生活環境を保全する条例の運用に対する例外規定を求める意見書」を提出したところである。今後、村では対象品目、焼却期間などを検討し、県に計画書を提出し、協議をしていくことになる。

9月7日、左記の議題を協議する。

①パスポート申請について

利根沼田県民局で行っている申請から受領までの手続きを、平成24年1月から役場総務課住民係で行うことになる。なお、申請期間は、これまでと同じになる予定である。

②野猿の出没について

野猿の群れが沼田市利根町から昭和村に移動し、生越地区と利根町の境界付近に出没。現在、トウモロコシのみの被害だが、今後、ほかの農作物への被害が懸念されるため、9月1日に監視カメラを設置。村では、利根町に組織されている「さる監視隊」について調べることになる。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

長者之原工場用地井戸の現地調査実施



長者之原工場用地井戸について現地確認

9月12日に行われた総務民生常任委員会では、村内現地調査及び新利南発電所の視察を行った。

5月1日に開所されたグループホーム「星の降る村」に行き、管理者から入所状況や取組みについて説明を聞き、これからの課題として「ケースワーカーの人達に紹介をしていただけると、施設運営や知名度を高める努力をしていきたい」という

話しがあった。今後も、素晴らしい環境を活かした地域密着型のグループホーム運営をしていただきたい。

次に、県知事と一緒に種まきをしたコスモス畑の現状と、長者之原工場用地井戸の現地調査をした。コスモス畑は、台風12号の影響で被害を受けたが、大小、色とりどりの花が咲き、新しいビューポイントとして、多くの観光客が訪れていた。

長者之原工場用地井戸については、場所確認と当局から現地説明を受けた。この井戸は平成6年に鹿島建設がスキー場開発計画に伴いボーリングしたもので、深さは約500mで、揚水量は、1日当たり700トンあり、水質も一般飲料水水質基準適合であり、維持管理をしてい

くに当たり洗浄等工事が必要との説明があった。企業に「おいしい水」として売り込めるように、水量及び水質の確認を考え最善な方法が望まれる。

次に、新利南発電所の視察を行った。当施設は、平出ダムから発電することなく放流した水と、平出ダム下の片品川河川環境を改善するための河川維持放流を利用した発電所で、年間一般家庭約1100軒の消費電力が賄えることができる。

その後、平成22年度各会計決算質疑や所管事項について意見交換を行った。



今年7月に運転を開始した「新利南発電所」見学

視察研修を実施

9月28日から30日までの日程で、議会視察研修を実施した。

最初の視察地である岐阜県富加町は、「日本最古の戸籍ゆかりの町」と言われ、道の駅「平布里の郷」とみか」と郷土資料館を見学。道の駅は、平成22年4月にオープンし、レストランが中心の施設であり、直売所の売り場面積の拡充が課題とのことであった。

次に、岐阜県美濃加茂市にある八尋産業(株)を視察。野菜や果実類などの減圧乾燥機を見学した。



富加町役場で高橋議長あいさつ

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

村道の改良工事に関する請願など採択

9月13日に文教産建常任委員会が行われ、付託された請願について現地調査を実施、その後審査を行った。

「あぐりーむ館の改築に関する請願」については、オープンしてから間もないため、手動ドアについては「とつて」や「パッキン」を取り付けるなどの対策は必要であるが、1年間四季を通じて十分活用していただくべきであり、全会一致で継続審査とした。

「村道横道下中坂線の道路改良工事に関する請願」については、赤城西麓土地改良事業以前に舗装工事が

行われカーブの部分をはじめ全体的に路面が傷んでおり、早期に道路改良工事が必要であり全会一致で採択した。

「村道板戸11号線の舗装整備に関する請願」については、地域の生活道路として利用されており、現在未舗装のため自動車や人の通行に支障を来しており舗装工事が必要とのことで全会一致で採択とした。

「村道大河原・長者久保線側溝布設整備についての請願」は、側溝が小さく、道路の土圧対策として設置したH鋼が排水を妨げてお



村道大河原・長者久保線側溝を調査



中山間地園芸センターで新種のりんごなど視察

り、大雨のときなど、住宅や作業場、畑に雨水が流れ込む状況が続いている。また、当該村道は大河原小学校の通学路となっており、早期に応急措置を含め対策が必要であり全会一致で採択とした。

また、群馬県農業技術センター・中山間地園芸センターを視察した。りんご、ブルーベリーなど数種類の品種について説明を受けた。その後、平成22年度各会計決算についての質疑や所管事務についての意見交換を行った。

2日目は、愛知県設楽町^{したらちょう}を視察。愛知県北東部に位置し、長野県と接しており、鳥獣害対策は喫緊の課題である。柵、檻などの資材購入費の補助や、猟友会への有害鳥獣捕獲奨励金、狩猟免許の取得費用補助などについて説明を受けた。

3日目は、静岡県森町^{もりまち}の「体験の里 アクティ森」を視察。この施設は、第3セクターで運営されており、経済力、行動力、情報発信力のある20代から40代の子育て世代を対象に、新しいサービスを積み上げていきたいとの説明があった。



「体験の里 アクティ森」で説明を受ける

一般質問

農地造成地売り渡しは



加藤 生 議員

問

国有地であった旧糸之瀬苗畑地区において進めてきた農地造成工事(面積約21・1ha)は面整備が終了し、換地や確定測量を進めているところである。

これらの土地の売り渡し時期と売り渡しを受けられる対象者はどのように考えているのか。

答 村 長

農地の売り渡しについ

ては、ほぼ中央にあるフェンスより赤城山に近い方を抽選で、反対側は入札で行い、販売価格についてはこれから設定します。

また、販売時期については、平成24年1月には売買契約が結べるように考えています。

それから、農家一戸一筆の原則を堅持したいと考えています。

村道維持管理費の増額を

問

24年度予算では村道の維持管理費を計画的に確保し、陳情があるからやるのではなく、計画を立てて予算を割いていくべきではないか。また、次代を担っている農家の若い人に先進地視察や研修のために予算確保を考えるべきである。

答 村 長

村道維持管理については維持補修計画を立て順

次整備が必要な箇所から取り組み、次年度から県営「農地整備事業保全対策」などを活用し5カ年で5億円を用途に計画的に進めていきます。

また、農家の若い人の先進地視察については検討して行きます。

太陽光発電に補助金を

問

自然エネルギーの導入について再生可能エネルギー特別措置法が成立した。太陽光や風力等を利用した自然エネルギーが一躍脚光を浴びることになり、太陽光発電に対して補助金の新設をするべきである。そして自然の豊かさを子ど

もたちに引き継ぐべきである。

答 村 長

太陽光発電は有効であると認識しています。

したがって、太陽光発電に対する補助制度は来年度から導入したいと考えています。



注目を集めている太陽光発電

姿勢問う

昭和村の人口の推移は



横坂 先夫 議員

問

昭和37年から平成21年までの人口総数を見ると、年々減少している。昭和39年から43年までが9千人台、昭和44年から平成13年までが8千人台、平成14年から平成21年までが7千人台と年々減少している。減少の原因は、出生と死亡の関係なのか、それとも違う原因があるのか。正に団塊の世代が還暦を迎え、少子高齢化は数字にも表れている。このまま自然に任せて何もしないのか、それとも人口を増やすために何かを考えているのか。

答 村 長

本村における人口の推移ですが、平成2年度では、8198人でしたが、平成22年度の国政調査では7621人と、577人も減少しています。人口減少への対策としては、保育料の2割補助する子育て支援事業を実施し、村内の小学校3校に児童クラブを設置する

など、子育ての負担軽減により、少子化に歯止めをかけたいと考えています。未婚者への対策としては、計5回の「ふれあい交流会」を実施しています。

今後も少子化対策、定住対策、雇用創出の施策をバランス良く実施し、人口の減少に歯止めをかけ、人口増加へ向かうべく努めていきたいと考えています。

問

今回、こうした質問をした経緯は、やはり高齢者が増えていることよって、若い人が苦勞するのではないのかということがある。元気で長生きするのは、大変喜ばしいことと思うが、これからは、若い人がお年寄りを面倒見るといふことだけではなく、やはり年を老いても、元気な人が自分たちの仲間を見るような形の施策も必要と感じているのか、どのように考えているのか。

答 村 長

人口を増やす、減少を止めていくということ、若い人が増えて、子どもさんが生まれるということでありませう。それには、働く場所がまず重要だと思えます。企業や農家の皆さんも元気があ

うことです。昭和村にどう住んでいただけるかだと思っております。いろいろアパートを検証していただいております。いろいろな箇所があるだろうと思っております。いろいろなことを施策としていくことが重要かと思っております。



元気いっぱいの保育園児

一般質問

指名業者の決定は



星野 吉一 議員

問

事業のスムーズな進行と完成に大きく左右する業者の決定には、基準等があるのか。また、どう決定するのか。

7月30日にオープンした道の駅では、工事前からの問題点、変更工事、雨水流入で対策工事があった。これまで、設計・施工ミス等でやり直し工事等があったか。設計、施工等について、これらを評価し、その後の指名の決定、発注にどう生かしているのか。

答 村 長

指名競争入札に参加させる者を指名するときは、適当と認められる者の中から指名し、入札審査会の意見を聴くことになっています。この審査会は、村が発注する工事に係る入札業務の公平な執行を図ることを目的に設置されたものであり、指名競争入札に参加させる者の選定については、資格者名簿に登録された者の中から指名業者を選定して

います。予定価格が130万円以上の工事等の請負をさせるときは、指名競争入札を実施しています。

設計ミスや施工ミス等による工事のやり直しについては、通常2年の瑕疵担保期間があり、施工ミスや不具合等があった場合は責任をもってやり直しをさせています。

施工ミスのやり直しは、平成14年度に施工した公民館・保健センター屋根塗装工事で、16年度に一部の補修工事を実施しています。その後、平成21年度に発注した昭和中学校校舎・体育館屋根塗装工事の指名から外しています。

問

道の駅について、雨水流入等や、工事中にもレベル関係でも多くの問題を抱えていたが、やはり自然環境のわからない業者が設計を受けたということが一番の原因ではないのか。地域の環

答 村 長

境を理解した業者を選定していくのが重要だと考

えるが。設計士については、国家資格ですが、現実の中でいろんな問題が

起きています。

そして、今回の選定理由ですが、地域力向上委員会の中でアドバイサーをお願いし、その方から紹介をいただき、佐々木設計に決まりました。



道の駅「あぐりーむ昭和」に設置された足湯

姿勢問

昭和の森の運営は



角田 茂 議員

平成16年7月から指定管理者として、グリーンスコール(株)が昭和の森ゴルフ場・山荘の管理運営を行っています。また、昨年の6月議会において議決をいただき、平成22年7月1日から25年6月30日まで、3年間の指定

答 村 長

また、これからも赤字経営ならばどうするのか、そして返済できるのか調べてあるのか。悪い芽は早くつみ取り、昭和村経営が悪くならないようお願いする。

また、「昭和の森の管理に関する年度協定書」を締結しており、施設使用料として年間700万円を村に納めてもらっています。22年度決算見込みによれば、3月終了時点で、経常利益がマイナス772万9千円で、例年どおりの納入が厳しいとの申し出がありました。これは、昨年夏場の天候不順や、3月に発生した東日本大震災による利用客の減少やガソリン不足によるキャンセル等があった一方、機械備品類の老朽化による修繕料の増加、燃料等の値上げなど経費増が重なったとのことでありました。



平成22年度昭和の森ゴルフ場の利用者数は13,309人

問

昭和の森の運営については、指定管理でグリーンスコール(株)に任せられたと聞いたが、赤字の場合、この会社の責任であることに間違いないか。

また、3回目の指定です。そして、経営が赤字の場合は、指定管理者制度に基づいて指定していますので、グリーンスコール(株)が責任を負うこととなります。

資金ショートなどを起こすことなく、しっかりと管理、運営を行っていただかなければなりません。

村としては、景気低迷

の中にあつて、大震災の影響を受け、やむを得ないものとして、納入額を半額にすることを容認するとともに、更なる自助努力を要請しました。

一般質問

河岸段丘を 生かした村づくりを



兵藤 喜孝 議員

問

今、沼田市の団体が河岸段丘の地形をアピールしているところがある。美しい河岸段丘の地形そのものがこの昭和村だと思う。ユネスコで支援している世界ジオパークという地層、地形遺産を考える取り組みが世界中で広がっているのを見ており、その地域の地形、地層、岩石などから大地の歴史を知ることのできる自然公園という位置づけで、地形、地質の災害に関して社会と地域を共有するためにジオパークが役にたっているように思われる。

日本ジオパークに下仁田地域が認定を受けた。これは、町と町民が一丸となって、地質遺産を生かして地域振興を図ろうと取り組んだ成果だと思う。昭和村も河岸段丘の地形が大きな地域振興につながる可能性がある。日本ジオパークへの認定を含めた前向きな検討と、河岸段丘が作り上げた自然環境、文化などを

再確認し、改めて村づくりを考える必要があるのではないかと。

そして、昭和村のこの地形が作り上げた自然環境、生活環境、文化などを再認識し、改めて村づくりを考える必要があるのではないかと。

答 村長

沼田市では、地元の飲食店経営者ら有志が「日本一の河岸段丘の会」を今年6月に発足させました。壮大な景観を楽しめる場所を紹介した地図を制作したり、8月1日からは市中心街の「なかま広場」で写真展を開催しました。

本村では、昨年フォトコンテストを開催し作品687点という多くの応募がありました。

村としても昭和村を紹介するDVDやパンフレット等により、機会あるごとに自然の造形美である河岸段丘をアピールしています。今後も、片品川をはじめとした水辺空

間、農地斜面林の緑の潤い、河岸段丘による空間の広がり、なかなかに作り出される美しい景観など、河岸段丘の地形を生かした魅力ある村づくりを進めていきたいと考えています。

す。ジオパーク等への認定に向けては勉強をしていきたいと思っています。

※科学的・文化的に貴重な地質遺産を含む自然公園。



雄大な昭和村の河岸段丘

姿勢問

団塊世代を見越して 村デイサービス施設の拡充を



林 幸司 議員

村内13カ所の測定数値に異常値がなく、それを公表することでマップを作成しなくとも判断。

答 村 長

子ども達が近づく場所の側溝などホットスポットをきちんと測定し、除染の実施を求める。

問

村内汚染マップの作成と公表を求める。

放射能ホットスポットの除染を

答 村 長

65歳以上人口は、10年

問

2025年まで高齢者人口は増え続ける一方、特養待機者など介護保険施設の不足は深刻である。

唯一の村介護保険施設福祉センターデイサービスの一すし詰め状態をなんとかしてほしい」という切実な声に応え、定員50人まで利用できるよう拡充を求める。

後2299人へ327人増加見込みです。

施設入所の増等により村デイサービスの利用は減少傾向にあり、現在の施設床面積166㎡で55人まで可能ですが、ゆとりを持って35人としており、ご指摘に類する苦情や要望は1件もございません。

なお、県がマップを作成するのでご覧ください。各小学校等、雨水が溜まりやすい場所等の測定を既に実施し、国(除染)基準の1マイクロシーベルトを超えた所はなく、問題のない数値なので公表はしませんが、問題が起きたときには迅速に処置していきたい。

問

米国のウラン・軽水炉戦略いいなりに、政官業ゆ着の原発利益共同体が国民を欺いて原発大国にしてきた経過をふまえ、村長として撤退を明確にした対応を求める。

原発撤退を明確にした対応を

くしてあり得なかつたと思いますが、今後は自然エネルギーを積極的に活用していくことが望ましいと思います。

今すぐ(原発を)やめるのはむずかしい、20年くらいかけて、そういう方向(撤退)に持っていくことだろうと思います。

答 村 長

日本の発展は、原発な



今年5月に中野上に関所されたグループホーム「星の降る村」

玉村議会との交流会

7月16日、玉村町で玉村町議会との友好関係構築のための意見交換会をしました。日光例幣使第一番目の宿場であった玉村宿は、本陣や問屋場がおかれ50軒程の旅籠屋が立ち並び賑わいをみせ交通の要衝としても栄えました。その後、「た



迫力があった「たまむら花火大会」

まむら花火大会」を観覧。同花火は、群馬の夏の始まりを告げる風物詩となっています。

村づくり協力委員とのサルビア植えと意見交換会

7月20日、昭和村総合運動公園の南側入口（望郷ライン沿い）の花壇に、村づくり協力委員と合同でサルビア3500本を植えました。午後1時30分から始まった作業には、25人が参加。手際よく植え付けを行いました。その後、昭和の森山荘に移動し、道の駅「あぐりーむ昭和」のオープンについて等活発な意見交換が行われ、有意義な交流となりました。



昭和の森山荘で行われた意見交換会

山梨県昭和町議会広報視察研修



読まれる議会だよりを目指し山梨県昭和町を視察

7月21日、山梨県昭和町議会広報編集特別委員会を訪れ、視察研修を行いました。昭和町は、甲府盆地の南側に位置し、面積は9・15平方キロメートルで2つの工業団地を有し、自主財源である町税のうち特に潤沢な個人住民税があり、昭和59年から交付

税不交付団体です。「昭和町議会だより」は、平成21年度から2年連続で、町議会広報全国コンクールで入選されました。議長さんをはじめ広報委員の皆さんの丁寧な説明を受け、意義ある視察研修となりました。

議会基本条例に関する 視察研修

7月27日、東吾妻町議会で視察研修を行いました。

平成18年3月27日、「平成の大合併」により吾妻郡東村と吾妻町が合併し東吾妻町が誕生しました。

町民福祉の向上や民主的で平和な社会の実現のため、議会及び議員として、その役割を果たすには、議会基本条例を制定する事が必要と考え調査検討を進めることになりました。

視察研修で学んだことを参考に、昭和村議会基本条例制定に向けて取り組んでいきます。

農業委員等との下草刈り

7月25日、総合運動公園内の下草刈りを議会と農業委員会、さくら工房で行いました。

この下草刈りは、環境美化の一環として、毎年行われているもの。参加した45人は、炎天下の中、汗まみれになり、各自持参した草刈機で奮闘。およそ2時間かけ、繁った雑草を退治しました。



草刈機で雑草駆除



議会基本条例制定に向け東吾妻町で研修

道の駅「あぐりーむ昭和」オープン

7月30日、道の駅「あぐりーむ昭和」がオープン。オープニングには、「生越太鼓」が登場し、これからの輝かしい昭和村発展のためにと素晴らしい演奏を披露しました。

今後、「あぐりーむ昭和」が新しい村の玄関口として、村外へ県外へ、「こんにゃく生産日本一」、「野菜王国昭和村」など情報発信が期待されます。



オープンを祝して行われた餅投げ

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

「イーグルポイント市との姉妹都市交流の締結」について

(平成17年6月定例議会一般質問)

問

中学生海外派遣事業は、昭和村の中学生達がアメリカという国を肌で感じ、ふれ合える、そして貴重な体験ができる素晴らしい交流であると思う。そこで、「姉妹都市交流締結」に向けて、村長の決意は。



答

国際化に対応できる青少年の育成を願い、平成10年から中学生海外派遣事業がスタートしました。その間、両市村との間に積極的な人的交流が図られ、お互いの生活文化を理解し、直接風土や風習に触れることを通して、年々友好の輪が広がっています。国際交流等の実施市町村等の内容を調査し、締結に向けて努力していきたいと考えています。



その後

平成17年5月に昭和村議会議員視察団が中学生の海外派遣事業先でもあるイーグルポイントを視察見学したことが契機となり、本村とのさらなる友好関係を築くことを目的に両自治体において、姉妹都市として交流していこうという確認がされました。

その年の6月にはイーグルポイント市から友好姉妹都市の議会決議が成立し、本村でも12月定例議会で承認しました。

その後は、姉妹都市としての具体的な交流はありませんでしたが、友好関係を確認してから5周年となる今年、イーグルポイント市から独立100周年の招聘、その記念行事に正式な招待を受け、議長や村長をはじめ表敬訪問し、友好関係を深めてきました。

さらなる友好関係と絆を深めるために、今年の10月には、本村が合併して40周年記念事業として始まった「昭和の秋まつり」に招待し、ウェルカムセレモニーの席上、友好宣言をしました。

今後は、教育面では将来を担う中学生派遣事業とイーグルポイント市の中学生の受け入れの推進を図り、産業面では、大規模経営化が進む昭和村と広大な農地を保有するオレゴン州との積極的な情報交換、さらに優良企業の進出に伴うグローバルな村づくりのためにもイーグルポイント市との関係をより深く密接なものとして、相互の交流をより積極的に行い発展に努めることが必要です。

みなさんからの請願・陳情

自 平成23年8月18日 至 平成23年8月26日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
9	H23.8.18	村道横道下中坂線の道路改良工事に関する請願書	松ノ木平第二区長 金井 信治	藤井富夫 中里信幸	文教産建	採択
10	H23.8.18	村道板戸11号線の舗装整備に関する請願書	松ノ木平第二区長 金井 信治	中里信幸	文教産建	採択
11	H23.8.18 (郵送)	拡大生産者責任(EP R)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について(お願い)	福岡県筑後市長 中村 征一 ほか3名		配布のみ	
12	H23.8.26	村道大河原・長者久保線、側溝布設整備についての請願書	大河原区長 治田 貞賢	高橋昇三 星野吉一	文教産建	採択
13	H23.8.26	「あくりーむ館」改築に関する請願書	昭和村商工会 会長 治田 貞賢 昭和村さくら工房 会長 兼田 矩美	兵藤喜孝	文教産建	継続審査

議会の動き

7月

- 16日 ● 玉村町議会との交流会
- 20日 ● 村づくり協力委員会とサルビアの苗植え・意見交換会
- 21~22日 ● 議会広報編集特別委員会先進地視察研修(山梨県昭和町ほか)
- 25日 ● 広域圏議会定例会
農業委員会・さくら工房と総合運動公園内下草狩り
- 26日 ● 利根沼田暴力追放推進協議会理事会及び定期総会
- 27日 ● 議会基本条例に関する視察研修(東吾妻町)
- 28日 ● 中学生海外派遣事業壮行会
- 30日 ● 道の駅「あくりーむ昭和」オープニング式典

8月

- 1日 ● 議会運営委員会
- 4日 ● 利根川治水同盟治水大会
- 8日 ● 議会全員協議会
- 9日 ● 利根沼田学校組合議会議員協議会・議会定例会

- 15日 ● 群馬県戦没者追悼式
- 19日 ● 議会運営委員会
- 21日 ● 望郷ラインセンチュリー・ライド
- 25日 ● 村民運動会打ち合わせ会議
- 26日 ● 利根地方総合開発協会理事会・代表幹事会
定例議長会
- 31日 ● 議会運営委員会
議会広報編集特別委員会

9月

- 5日~6日 ● 自由民主党横浜市会議員団
来村
- 7日 ● 第4回昭和村議会定例会
本会議(初日)
議会全員協議会
- 8日~9日 ● 議会全員協議会
- 10日 ● 小学校秋季大運動会
- 12日 ● 総務民生常任委員会
- 13日 ● 文教産建常任委員会
- 14日 ● 本会議(最終日)
- 15日 ● 議会広報編集特別委員会
- 17日 ● 昭和中学校秋季大運動会
- 20日 ● 第33回風土展並びにヨコハマトリエンナーレ2011視察

- 22日 ● 中学生海外派遣事業報告会
- 25日 ● 村民運動会
- 26日 ● 議会広報研修会
- 27日 ● 香川県直島町議会広報編集委員会視察来村
議会広報編集特別委員会
- 28~30日 ● 行政視察研修(岐阜県富加町、愛知県設楽町、静岡県森町ほか)

10月

- 1日 ● 保育園運動会
- 2日 ● 第14回昭和の秋まつり
玉村町議会との交流会
- 3日 ● イーグルポイント親交5周年記念特別来賓表敬訪問に係るウエルカムセレモニー
- 4日~5日 ● 利根郡町村議会議員・事務局
長研修会
- 5日 ● 議会広報編集特別委員会
- 9日 ● 消防団秋季点検
- 12日 ● 第5回昭和村議会臨時会
- 13日 ● 山梨県南部町議会広報編集委員会視察来村
- 14日 ● 利根郡町村議会議長会定例会
利根沼田広域圏議員協議会

聞きたい、知りたい
みんなの声

今回は、各種団体で活躍されている方々の声をお届けします。

婦人会活動を通して

会長 戸村 節子さん
(大堰)



平成23年度昭和村婦人会の会員数は、136名です。ボランティア団体として、サルビアの花植え、小学校の運動会や村民運動会、昭和の秋まつりなど、村の行事に参加しています。

7月には、各支部で育てたサルビアの苗を、総合運動公園の信号の縦道に植えました。その時、近くにお住まいの方が寄ってくださって、「いつも、サルビアの花で心和ませてくれてありがとう。花を見るたびに、優しい気持ちになります」と言われました。声をかけてくださって、とても嬉しかったです。

婦人会の諸先輩が築いてくれた花いっぱい運動は、村の人達に優しい花を咲かせてくれました。サルビアの花は、11月まで赤く咲き

続けます。花を見て温かい気持ちになって頂いたら、私達の活動もやりがいがあります。



総合運動公園北口付近の村道沿いでサルビア植え

交通指導員として

隊長 新木 篤志さん
(樽久保南部)



「交通指導員をやってほしい」と

言われ、正直、自分にできるかどうか不安でした。幸い、すばらしい仲間にも恵まれ、大変の中にも充実感を味わいながら、あつという間に月日が経ちます。

交通指導員の役割としては、学校行事への参加協力が多く、ちょうど小・中学校に子どもが通っているのが、普段見ることでできない様子が見られて良かったと思います。他にも、各地域の祭りに参加をし、交通整理等を行っています。また、年4回ある交通安全週間では朝、通学路に立ち街頭指導を行っています。子ども達が私達の前を通る時、大きな声で「おはようございます」と言ってくれ、素直で礼儀正しい子ども達を、



通学路に立ち街頭指導

見てみると、いつも感心させられます。

これからも、交通指導員一同、自覚や誇りを持ち、村民の安心安全のために頑張っていきたいと考えていますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

若妻会連絡協議会

会長 星野 富士子さん
(長者久保)



若妻会に入会して8年目になります。今では、赤城区の会長を持ち、連絡協議会の会長を務めさせていただいています。

8年間、若妻会に携わらせてもらっていますが、私が入会した時は会員数も多く、若妻会のある地区もたくさんあり、活気があったことを思い出します。しかし、年々会員数も減少し、地区も今では六地区しかありません。何とか出来たらと思っておりますが…。

若妻会に入会するメリットは、たくさんあると思います。私は、前橋市からここに来て、村のこと、もちろん地域のことも何もわからずにいました。でも、若妻会に誘ってもらって、入会して良かったです。会には、同じくらいの子どもを持つお母さんや先輩お母さんがいて、多くの情報交換が出来たり、子育ての悩みを聞いてもらったりして、不安を安心に変えることが出来ました。

今の若いお母さん達にも是非、入会してほしいと思います。



総合運動公園内でブルーサルビア等の苗植え

青少年育成推進員

会長 林 節雄さん
(生越)



私達、昭和村青少年育成推進員連絡協議会(青少推)は、各地区の代表21名から成っています。

I 子ども達とかかわりを持ち、健やかな成長を見守ろう。

II 地域と連携して、青少年の育成支援活動を広げよう。

二つの重点目標を掲げ、次のような活動を行ってきました。

さわやか声かけ運動 登校時に各学校の校門に立ち、登校中の児童生徒に「おはよう」と声をかけ、あいさつを励行するとともに、相互交流を図っています。

放課後村内パトロール 学期末に、各小学校周辺から通学路に沿って、子どもたちと一緒に下校して、通学時の様子や通学路の危険箇所を把握して、場合によっては村当局に改善してもらうようお

願っています。これからも地域皆様の御協力をよろしく願います。



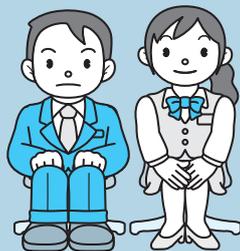
南小学校での「さわやか声かけ運動」

議会を傍聴しましょう

昭和村議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題などを審議しています。

是非、村民の皆さんの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は、12月を予定しています。



地域でがんばる人

菊作り二十年

竹之内 孝永さん（伏田）

私が菊作りを始めたのは50歳の頃でした。友達に進められて始めてはみたものの、まだ農業を自分が主力でやっていたので、はたして菊の手入れをする時間があるのかどうか心配でした。

でも、やるからには、昼休みや夕方畑仕事から帰って手元が見えなくなるまでしたものでした。そうした努力の甲斐

あつてか、1年目の秋、利根沼田菊花会の展示会で新人賞を頂きました。それが励みになって20年もの間、1年も休むことなく出品し数々の賞を頂きました。また、利根だけでなく10年くらい前から全国大会や新潟県の弥彦神社にも出品するようになりました。全国大会では九州の福岡県まで出品するのですが、全国から7000点もの菊が集まりそれは見事です。5年前には地元の大田市で開かれましたが、その時が私にとっては一番良い成績で25位で入賞しました。これまで頑張つてこられたのも、仲間の人達とお互い切磋琢磨し作り続けるなど仲間との絆があったからだだと感謝しております。これからも家族の協力のもとで菊作りを続けていきたいと思えます。



秋の健康ちょとレシピ

（昭和村管理栄養士 丸山智恵子）

材料（18cmタルト型）

〈タルト生地〉ビスケット（市販）…120g、バター（溶かす）…30g、牛乳…大さじ2

〈パンプキン生地〉南瓜（皮をむく）…250g、砂糖…40g、卵黄…1個分、A〔生クリーム…30g、レモン汁…小さじ2、シナモンパウダー…少々〕

作り方

- ①ビスケットは袋に入れて上からのし棒などで細かく砕き、溶かしバターと牛乳を加えしつとりさせたらタルト型に入れ、押さえながら底に敷き込んでおく。
- ②南瓜は3～4cmの角切りにし、耐熱容器に入れラップをかけて電子レンジでやわらかくなるまで加熱する。（500w 5分）
- ③②の南瓜とAをミキサーにかけ、パンプキン生地を作る。
- ④①のタルト型に③を流し、220℃に予熱したオーブンで20分程焼き、冷めたら型から抜いて出来上がり。



栄養価（1人分）

熱量…155kcal、たんぱく質…2g、脂質…7g カルシウム…66mg、鉄…0.5mg、塩分…0.2g

ワンポイントアドバイス

- ・市販のビスケットでタルト生地を作り、中身の生地は混ぜるだけの簡単タルトです。
- ・焼けたタルト生地はサクサクしていて崩れやすいので切るときには気をつけましょう。
- ・南瓜の食感を残したい人はミキサーを使わずに粗くつぶしても良いです。

簡単パンプキンタルト

編集室から

暑さが残る9月定例会が終わり、これから実りの秋を迎える時に、台風上陸により、全国各地に大きなつめあとを残し、昭和村においても、農作物等に大きな被害をもたらしました。被害を受けられた皆様には心より、お見舞いを申し上げます。

今年は、県内各地で観光を考えた取り組みが盛んに行われていきます。昭和村でも群馬アステイネーションキャンペーンや道の駅「あぐりーむ昭和」のオープンなどにより、週末は他県ナンバーの車も目立ち、多くの観光客が訪れております。新しい時代の流れを感じます。

これから、昭和村も地域振興を図るためにも観光事業への取り組みが課題になると思いますが、安易な取り組みをすると地域を壊してしまう可能性もあります。周りに流されず、腰を据えて将来目指す方向をしっかりと定めることが大切だと思います。

兵藤 喜孝 記

議会広報編集特別委員会

委員長 星野 吉一

副委員長 加藤 生

委員

横坂 先夫 角田 茂

加藤 美昭 兵藤 喜孝

高橋 幸一郎 藤井 富夫